

那須の美酒、ブランド「池錦」 存続のため事業譲渡

譲受企業の概要

会社名：株式会社 小林酒店
 代表者：小林 一三氏
 所在地：栃木県鹿沼市
 資本金：1,000万円
 業種：酒類卸・小売業
 従業員：4名

(株)小林酒店 × 池島酒造(株)



左から 鹿沼相互信用金庫・田中担当部長、小林社長、池嶋社長、
 栃木県事業承継・引継ぎ支援センター合本サブマネージャー

譲渡企業の概要

会社名：池島酒造 株式会社
 代表者：池嶋 英哲氏
 所在地：栃木県大田原市
 資本金：1,000万円
 業種：酒蔵
 従業員：2名

事業承継の概要

- 譲渡方法：株式譲渡
- 支援方法：M&Aの仲介

池嶋社長は、創業時からの家訓「主人自ら蔵に入るべし」を守り、長きにわたり杜氏や蔵人と一緒に酒造りに従事してきましたが、70歳を迎え、これまで無理をしてきた影響で体調を崩してしまっています。引退を考えたものの後継者候補がおらず、4代続いたブランド「池錦」存続のため第三者への事業引継ぎを決定し、相談先の大田原商工会議所から紹介を受け、当センターでの支援に至ったものです。

池嶋社長は当初、酒蔵を活用して現地での酒造り継統を希望したものの、小林社長の酒造りと鹿沼への酒蔵移転に対する情熱に共感

し、小林酒店への引継ぎを決定しました。その後、鹿沼相互信用金庫の仲介のもと、数回の面談を重ねた交渉は順調に進み、資産やのれんの評価で双方の考えを調整した結果、具体的な引継ぎ条件について合意に至り、池島酒造の全株式を小林酒店に譲渡する株式譲渡契約が締結され、円滑に引継がれたのです。

1 事業引継ぎに至るまでの経緯

池島酒造は明治40（1907）年創業、業歴114年の4代続く歴史ある老舗酒蔵です。現社長で4代目蔵元の池嶋英哲氏が引継いだ後も、昔ながらの手造りにこだわって造られたブランド「池錦」は、蔵内にある井戸から汲み上げ、地元産の酒米を原料としています。新酒鑑評会で幾度も金賞を受賞している那須の美酒で、地元のみならず関東一円にも愛飲者が多く、堅実な経営を続けてきました。

2 事業承継・引継ぎ支援センターでの支援内容

池嶋社長からは、既存の酒蔵を活用して酒造りを再開し、ブランド「池錦」を存続してくれる引継ぎ先を見つけてほしいと依頼を受け、数社の譲受候補先を紹介。面談や現地視察を重ねるも交渉はあまり進展せず、その後鹿沼相互信用金庫から紹介を受けた小林酒店が譲受に興味を示し、マッチングに向けた交渉が進むことになりました。

3 M&Aによる効果

池島酒造にとって114年の歴史がある酒蔵を閉じることになりましたが、酒造免許とブランド「池錦」、さらには建物や機械、器具などの酒蔵設備も小林酒店に引継がれ、鹿沼での酒蔵開設に活用されることとなりました。小林酒店にとっても念願の酒造りへの参入が可能となり、双方にとって大変満足いただける結果となりました。近い将来、小林酒店の手で新生「池錦」が造られ、再び味わうことができる日を楽しみにしています。

栃木県事業承継・引継ぎ支援センターでは、事業承継をスムーズに進めるため、さまざまな支援をご用意しています。今回も当センターで支援させていただいた、M&Aを活用した事業承継の取り組みをご紹介します。



栃木県事業承継・引継ぎ支援センター
 サブマネージャー
 谷本 央